NPO法人 遠野エコネット

エコネット通信

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

VOL.24

ホームページ：http://tono-econet.org/　　フェイスブックでも情報発信中！

森林資源ブランド化事業

moritoプロジェクト・ワークショップ

森を活かすブランドづくり

昨年10月に開催した森林セミナーでは、新潟県でのブナ材を「スノービーチ」というブランド展開している事例を、講師の紙谷智彦氏（新潟大学名誉教授）に紹介いただき、また、㈱富川屋代表の富川岳氏からは、ブランドづくりの大切なポイントなどを学ぶことが出来ました。このセミナーの最後では、森林資源を活かした「**mori to**」というブランドづくりを進めたいと紹介しました。

今回は、このブランドづくりを具体的に進めるためのワークショップを、2月20日（日）14時から土淵地区センター伝承ホールにて開催します。

昨年10月20日に開催された森林セミナーでは、50名の参加者が学びを深めました。

ワークショップの内容

ワークショップでは、最初に遠野エコネット代表の千葉和が、これまでの約10年間の間伐等の森林整備で見えてきた課題と、その上で今後目指す森づくりのビジョンを。そして、今回のワークショップのテーマである、目指すべき豊かな森づくりを進めながら、その森林資源を活かした産業化に取り組むための地域ブランド「**mori to**」について説明します。

その後、テーマ毎にグループに分かれ、講師の富川氏にアドバイスをいただきながら、ブランドづくりについて参加者でアイディアを出していただきます。その後、出されたアイディアを実現するための進め方などについても話し合えたらと考えています。

このプロジェクトでは、来春からは実際に森を訪ねた資源調査や、加工業者の研修なども行いながら、ブランド化を進める予定です。これまで、あまり森林に関心の無かった方も含めて、森を活かした地域ブランドづくりに意欲ある多様な方々の参加をお待ちしています。尚、参加希望者は、エコネット事務局まで申込連絡を下さいませ。また、当日はマスク着用の上、検温・手指消毒などにご協力をお願いします。

10月のセミナーで地域ブランドを説明する富川岳氏。

飛騨地域視察報告会

また、1月15日の新年交流会との同時開催が中止となった飛騨地域の視察報告会を、同会場にてワークショップに先立ち13時から約1時間行います。昨年11月に当会4名で訪問した岐阜県飛騨市で開催された「広葉樹活用による地域再生シンポジウム」の様子を、2日目のエクスカーションでの現地視察の内容も含めて紹介します。また、飛騨市の隣の高山市で取り組まれている「木の駅プロジェクト」についても、その実際の様子などもお話しできたらと考えています。こちらも興味ある方は、事務局までお知らせ下さいませ。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」 12/11(土)1/8(土)

12月のデイキャンプは12名の小学生が参加。午前中は今年度から始まった秘密基地づくり。1月以降は雪に覆われるため、この日に完成を目指すことになり、スタッフも手伝いながら、2グループの基地づくりを行いました。午後は、一年間田んぼでお米づくりをしてきた脱穀後の稲ワラを使ってのしめ縄づくり。それぞれが思い思いのしめ縄ができあがりました。

1月のデイキャンプは7名の小学生が参加。この日は、田んぼで種まきから、田植え、草取り、稲刈り、そして脱穀して穫れたお米を飯ごうで焚いていただきます。森へ出かけて焚き木を拾って火をおこし、鍋でカレーをつくることに。雪の上での屋外調理は寒かったけど、できたカレーライスは最高の味でした。午後は、雪遊び。ソリで坂道を滑ったり、森の中でお尻で急な斜面を滑り降りたり、雪合戦をしたりと、雪の中で思いっきり遊べました。

12月のデイキャンプで、秘密基地づくりをする子ども達。

1月のデイキャンプ。森のジェットコースターを滑りました。

ゆたかな森づくり倶楽部(山の神様に鳥居奉納) 12/12(日)

12月12日は、山の神様の年取りの日です。当会で、今年度から山の手入れに取り組む、遠野町内の山には、山の神様が祀られているのですが、その登り口にあった鳥居が倒れていました。そこで、間伐したヒノキ材で新たに鳥居を作ることにしました。鳥居づくりには、当会のスタッフの他に、森業倶楽部の参加者や、山主の方も薪の駅に集まり部材が完成。柱の土に埋まる部分は、炭で焼いて焦がし防腐対策も行い、山の神様の日を迎えました。鳥居の設置作業には、山主2名の他に、薪づくりや森業倶楽部の参加者など19名が参加。コンクリートを練って一斗缶に入れて基礎部分をつくり、くみ上げた鳥居を全員で力を合わせて建てることができました。無事に鳥居が建った後に、山の上にある祠へ登り、御神酒やお餅の供え物をしてから、みんなで山の神様を拝みました。

山の神様の鳥居を建立し、参加者で記念写真を撮影。

間伐倶楽部 12/21(火) 12/25(土) 1/22(土)

12月21日は、今年度炭っこ倶楽部に参加し、炭焼きを研修している遠野緑峰高校2年生7名が、松崎町内の実習林にて間伐の体験をしました。この日は、雨が途中から強く降るという天候になってしまいましたが、生徒達は間伐を体験することで、炭焼きの材料を伐り出す苦労が理解でき、今後の炭焼きにも真剣に取り組めると思います。

12月25日の間伐倶楽部は山仕事講座修了生の女性も参加し、遠野町の実習林で間伐作業を行いました。2年ほど間伐作業から離れていたとのことで、最初は忘れていることが多かったようですが、少しずつ勘を取り戻して、間伐作業をしました。

1月22日は、今年度から手入れをする遠野郷八幡宮に隣接した杉林。この山は、山仕事講座修了生の所有林で、手入れを依頼されてました。10名の参加者で、枯れた木の伐採や杉の間伐作業を行いました。今回は枝払いをせず、「葉枯らし」することで乾燥をすすめ、来年度に造材して薪に活用します。

高校生もチェーンソーでの間伐を体験しました。

森業(もりわざ)倶楽部 12/26(日) 1/23(日)

12月と1月の森業倶楽部は木工作業。12月には、木材の塗装方法について、講師の菊池光典氏に説明していただきました。また、恒例のピザ窯でのピザ焼きも、参加者が生地を作って来てくれ、参加者が作った鍋も加わり、お昼休みに皆で美味しくいただきました。

12月の森業倶楽部では、塗装について学びました。

活動報告（12 月～１月）

薪づくり倶楽部＆森の笠地蔵プロジェクト　12/5（日）12/24(金) 1/9(日)

12月５日の薪づくり倶楽部には15名が参加し薪づくりを行いました。また、森の笠地蔵プロジェクトとして、午前中には青笹町の一人暮らし高齢者のお宅に、午後は小友町の高齢夫婦のお宅に、それぞれ軽トラック４台ずつを届けることが出来ました。また、小友町のお宅では、薪ストーブの煙突が老朽化していたことから、小屋にあった煙突と交換作業も行いました。この日は、FMいわて「水のラジオ」が取材に来て収録していただき、その様子が12月18日（土）の放送で紹介されました。また、12月24日にも６名で薪づくりを行い、綾織町の高齢者宅２軒に、軽トラック５台で薪を配達し、一軒では自宅にあった丸太で薪づくりやチェーンソーの目立てもしました。

１月９日の薪づくり倶楽部には９名が参加し、薪づくりと共に、午前中に青笹町の一人暮らし高齢者宅へ、午後には宮守町の高齢夫婦宅へ、それぞれ軽トラック３台の薪を配達をしました。宮守町のお宅では、煙突掃除を行いました。

森の笠地蔵プロジェクトで薪を届けたお宅で記念写真。

１月の薪づくり倶楽部。薪を割ると体中が暖まります！

炭っこ倶楽部（緑峰高校２年）　12/17(金)1/21(金)

12月17日は、遠野緑峰高校２年生６名が飾り炭づくりを体験しました。この生徒達は、今年度炭焼き研修に来ている生徒とは別の班で、遠野の特産となっているビールの原料となるホップのツルの有効利用を研究している生徒達です。今回は、ホップのツルを炭にして、ドライフラワーの飾りなどにアレンジしたいとのことで、飾り炭を体験することになりました。バーベキューコンロに炭をおこし、空き缶に、炭にするホップのツルなどを入れて、飾り炭づくりを開始。次第に、煙が出始めて、その煙の色の変化で、炭化の状況が分かることを、講師の千田淳氏（楽炭代表）から指導いただきながら、炭焼きの行程にも理解を深めました。

１月21日は、通常の炭窯での炭焼きの研修を、緑峰高校２年生９名と行いました。11月に焼いた炭を炭窯から運び出し、炭を切り、袋詰め。午後には、マツ材を炭窯の中に立て込む作業を行いました。この他に、手が空いた生徒は薪割りも行う等、生徒達は、３回目ということもあって、指示されなくても積極的に作業に取り組んでいました。その後生徒達は学校に泊まり込み、夜も炭窯の番をしたりと、寒い中でも頑張ってくれました。

緑峰高校の生徒達が、薪の駅で飾り炭づくりを体験しました。

１月の炭っこ倶楽部で、窯出しした木炭を切る高校生達。

山仕事はじめの一歩（入門）講座　12/19(日)　1/16(日)

12月の講座参加者は16名で、松崎町の実習林にて午前中は集材の実習。トビやトング、サルカン、ロープという簡単な手道具を使った集材方法を習いました。いざ丸太を引っ張ると、その重さはずっしり。慣れない道具に悪戦苦闘しながら、通路まで運び出しました。みんなが疲れたところで、この日はスタッフが作った豚汁が振る舞われ、疲れも吹っ飛んだようです。午後は元気に、間伐の実習に取り組みました。

１月の講座参加者は18名で、松崎地区センターの会議室で安全講習を座学で行いました。テキストを使っての山での作業における注意事項などを再確認。その後は、３グループに分れて、イラストに描かれてある危険を見つけ、その対策をグループで話し合いました。また、午後には木の成長の仕組みなどを学びました。

12 月の山仕事講座では、集材の実習を行いました。

主な活動の予定（２月～３月）

月日	タイトル	内容	活動場所
2/1(火)	炭っこ倶楽部	緑峰高校炭スゴづくり	緑峰高校
2/6(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
2/12(土)	森のデイキャンプ	イグルーづくりと雪遊び	薬師岳山麓
2/13(日)	山仕事はじめの一歩(入門)講座	目立て、ロープワーク	松崎地区センター
2/17(木)	ムーンライトハイキング	満月の下雪原歩き体験	薬師岳山麓
2/18(金)	炭っこ倶楽部	緑峰高校炭焼き体験	薪の駅
2/20(日)	森のブランド化ワークショップ	MORITOプロジェクト検討	土淵地区センター
2月下旬予定	森のようちえん研修	つちのこ保育園代表と交流	コモンズスペース
2/26(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
2/26(土)夜	東北豊かな森づくりネットワーク・キックオフイベント	講演・トークセッション	オンライン
2/27(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
3/5(土)	森楽倶楽部	冬の森の自然観察	遠野町実習林
3/6(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
3/12(土)	森のデイキャンプ	春の森の固雪歩き	薬師岳山麓
3/12(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ（９時30分頃）
3/13(日)	山仕事はじめの一歩(入門)講座	実習まとめ、特別講習	松崎実習林他
3/19(土)	間伐倶楽部	間伐体験	松崎実習林
3/19(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ（９時30分頃）
3/20(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
３月下旬予定	プレ・森のようちえん	スタッフ研修	薬師岳山麓

【編集後記】

2022 年が始まり１ヶ月が過ぎました。遠野の冬は、本州でも特別ではありますが、この冬は久しぶりに寒い日が正月から継続しています。寒いのは誰も好きではないと思いますが、マイナス 15 度を下回るような晴れた朝は、世界全てが朝日に輝き、寒さも忘れる美しさがあります。

また、こんな寒い冬の楽しみが薪ストーブです。自分で春先に伐った木を薪に割り、家の周囲に積んでいますが、その薪をストーブにくべる時、その木を伐った映像が甦ります。そして、その暖かさは、森からの恵みと実感できます。(千葉)

発行:NPO法人遠野エコネット
令和４年２月２日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax　0198-64-2250
E-Mail:pahaya@tonotv.com

東北の豊かな森づくりネットワーク・キックオフイベント

東北の豊かな森づくりに関わる団体や個人が情報共有・交流しながら、お互いに抱える課題についての解決策を探し、また、活動の輪を広げたいと考え、ネットワークづくりを開始します。そのキックオフイベントを、2月26日19時からオンラインで開催します。

内容はマタギ研究者でもある田口洋美氏(東北芸術工科大教授)が「縄文・アイヌ・マタギから学ぶ森と人との豊かな関係」と題して講演。その後、三浦秀一氏(東北芸術工科大教授)をファシリテーターとして迎え、岩手大学の松木佐和子先生、遠野エコネット代表の千葉も加わり、森と人との豊かな関係を取り戻すためのトークセッションを行います。

参加希望者は、イベント開始時に当会のホームページまたはフェースブックに投稿される配信のリンクからご参加下さい。参加者は、コメント欄から、質問や意見も投稿できます。森への関心を高めるために、幅広い層の方々の参加をお待ちしています。

講師の田口洋美氏。当日はアイヌの地である北海道から参加予定。